

第7回東日本クラブセブンズ2017 実施要項

1. **名 称** 第7回東日本クラブセブンズ2017
兼2017ジャパンセブンズ代表チーム選考大会
2. **主 催** 関東ラグビーフットボール協会
3. **主 管** 埼玉県ラグビーフットボール協会
4. **日 程** 2017年5月7日(日)
5. **場 所** 熊谷ラグビー場 Cグラウンド
6. **出場チーム** 都道府県協会推薦クラブチームまたは選抜チーム及び関東協会クラブ委員会推薦チーム
7. **参加資格**
 - (1) 2017年4月30日現在、各都道府県ラグビーフットボール協会にチーム登録されたクラブチーム。
 - (2) 出場クラブは、公認コーチ(新スタートコーチ以上)によって統率されており、安全推進講習会受講者が在籍していること。
(上記各都道府県協会承認の選抜チーム等は除く)
8. **選手資格**
 - (1) 本大会の選手資格は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会「日本協会規約」及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則を遵守すること。
 - (2) 選手は満18歳以上の者とし、高等学校在学中(定時制を含む)の者の参加は認めない。
 - (3) 2017年4月30日までに日本ラグビーフットボール協会へ「競技者個人登録」を完了した者に限る。
 - (4) 他のチームとの二重登録は認めない。**(選抜チーム選手は除く)**
 - (5) 公益財団法人スポーツ安全協会または同等の「スポーツ安全保険」に加入していること。
 - (6) その他、選手資格に疑義がある場合には、関東ラグビーフットボール協会に於いて裁定する。
 - (7) 各チームは選手兼任でない「チーム競技委員」を1名選出すること。この者が中心となって大会運営を行なう。
9. **競技規則**
 - (1) WR 制定の「競技規則(2016-2017)」<7人制競技規則>による。
 - (2) 試合時間は7分ハーフ(ハーフタイム1分以内)とする。
 - (3) 同点の場合には以下の方法で上位進出権を決める。
 - ①トライ数の多いチーム。
 - ②トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。
 - ③上記で決定できない場合には抽選による。なお、決勝戦については、5分以内の延長戦を実施し、それでも勝敗が決まらない場合には双方を優勝とする。
※リーグ戦については、別途勝敗方法を定める。
10. **罰 則**

本大会で生じた不規律については、大会実行委員会(関東協会クラブ委員会)、及び関東協会理事会において裁定する。
11. **顕彰**

優勝チームは表彰すると共に2017ジャパンセブンズに代表チームとして推薦する。但し、推薦チームが他大会にて資格を有する場合は、大会実行委員会にて別途推薦チームを選出する。
12. **費 用**
 - (1) 大会参加料=20,000 円
 - (2) その他交通費等、試合中に発生した負傷等の医療費は、各チームの負担とする。

＜参加上の諸注意＞

1. 大会実施細則

- (1) 試合形式は、参加チーム数により別途大会実行委員会にて決定する。
- (2) 事前に23名以内で選手登録を行なう。(当日の変更可)
- (3) 当日の試合ごとの登録選手は12名以内とし、その中から選手の交替／入替へは3名以内とする。(7人制競技規則による)
- (4) 選手の交替(負傷交替、入替え、出血の一時的交替)は、必ずチームの交替指示者から本部席の競技役員に告げ、レフリーの許可を得て入退出すること。
- (5) 第1試合の30分前に、当日の登録選手全員(1～23番)のドレスチェックを行う。ドレスチェックを経た上で、選手は原則終日同一の背番号のジャージを着用する。
- (6) **出場選手全員は、統一されたジャージ、パンツ、ソックスを着用すること。**
- (7) 各チームは二組以上のジャージ(1st, 2nd)を用意すること。(ジャージごとの背番号の変更は可)
- (8) サポーター類を着用する場合にはパンツと同色の物を使用すること。但し、白・黒・紺色のアンダーパンツ、サポーター類は、いずれのパンツにも使用することが出来る。
- (9) ヘッドギア、ショルダーパットに色規制はないが、<WRマーク>の付いたものを着用する。ドレスチェックは型番などではなく、WRマークの有無だけで判断を行う。
- (10) ジャージの袖丈より長いアンダーウエアは、ジャージと同色または白・黒・紺色のものを着用する。
- (11) プレードタイプ(波型)のスパイクは着用できない。

2. ラグビーマナー

- (1) 以下の着こなしに注意してください。
 - ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
 - ・ パンツの上に出たジャージは、注意してパンツの中に入れる。
 - ・ ジャージのエリを内側へ折り込まない。
 - ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。
 - ・ 試合会場への往復の身だしなみに気をつけること。
- (2) タッチジャージ及びインゴールジャージはジャージ、パンツ、ソックス、スパイクを着用すること。
- (3) 水係り、ボール係りはスタッフとして動きやすく、ふさわしい服装をすること

* 大会の諸注意事項、その他の連絡事項は、参加申し込みのあったチーム宛て連絡する。

* 組み合わせは、参加チーム数によって変動する。